

研究課題番号	1J-2001
研究課題名	セルロースナノファイバーコンポジットの実用化
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	オーミケンシ株式会社
研究代表者名	徳田 宏

1. 委員の指摘及び提言概要

研究は順調に進み試作品までは目途が立ったと考える。開発の対象はセルロースナノファイバーの複合層をもつ紙製品であるが、純粋木材パルプを原料としているだけでは循環性が不十分である。リサイクル材を原料とした製造を、当初研究計画どおり実施して頂きたい。古紙を利用したセルロースナノファイバーコンポジットを実用化し、採算が合うプラスチックの代替製品が普及することを期待する。次世代事業であるので、用途開発、社会実装が重要であり、製品化からリサイクルまで含めたサイクルの構築までを期間内に進めてほしい。商品化に向けて研究期間終了前から関連企業との連携、装置の準備等について積極的な行動が期待される。

2. 採点結果

評価ランク：A